

病棟・救急でよくみる 皮膚疾患に 強くなる

皮膚所見を言葉で表現し、
適切な **診断**・**対処**・**コンサルト** につなげる

序 田中 了 3 (2349)

第1章 基本所見の見分け方

1. 紅斑・丘疹 岡 大五 8 (2354)
1. 紅斑とは 2. 丘疹とは 3. 症例① 4. 症例② 5. 症例③
2. 水疱・びらん 杉山聖子 15 (2361)
1. 水疱・びらんとは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. 研修医でもできる対処・対応 6. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced
Lecture: DPP-4阻害薬関連類天疱瘡
3. 結節・腫瘍 楠谷 尚 25 (2371)
1. 結節・腫瘍とは 2. 症例 3. 診断・方針決定へのアプローチ 4. 研修医でもできる対処・対応 5. コンサルトのタイミングと伝え方
4. 発赤・腫脹 後藤寛之 38 (2384)
1. 発赤・腫脹とは 2. 症例① 3. 症例② 4. 症例③ 5. 症例④
5. 紫斑 深松紘子 46 (2392)
1. 紫斑とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. その他の症例 6. 研修医でもできる対処・対応 7. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced
Lecture: 血管炎のガイドライン
6. 鱗屑 安田正人 56 (2402)
1. 鱗屑とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. その他の症例 6. 研修医でもできる対処・対応 7. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced
Lecture: 薬疹と鱗屑

第2章 症状・所見ごとの皮膚疾患

【痒い】

1. アトピー性皮膚炎

緊急事態に対処する！馬屋原孝恒 63 (2409)

1. アトピー性皮膚炎とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. 研修医でもできる対処・対応 6. 治療・対処が上手くいかないとき 7. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：アトピー性皮膚炎治療の展開

2. 接触皮膚炎峠岡理沙 73 (2419)

1. 接触皮膚炎とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 診断・方針決定へのアプローチ 6. 研修医でもできる対処・対応 7. コンサルトのタイミングと伝え方

3. 蕁麻疹・血管性浮腫柳田のぞみ, 高萩俊輔 81 (2427)

1. 蕁麻疹・血管性浮腫とは 2. 蕁麻疹・血管性浮腫の臨床像 3. 症例 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. 研修医でもできる対処・対応 6. 治療・対処が上手くいかないとき

4. 皮膚癢痒症・皮脂欠乏症柳原茂人 90 (2436)

1. 皮膚癢痒症・皮脂欠乏症とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 診断・方針決定へのアプローチ 6. 研修医でもできる対処・対応 7. 治療・対処が上手くいかないとき 8. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：慢性癢痒症（CPUO）

【赤い】

5. いわゆる中毒疹（ウイルス性・薬剤性・原因不明）三宅智子 97 (2443)

1. 中毒疹とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. その他の症例 6. 研修医でもできる対処・対応 7. 治療・対処が上手くいかないとき 8. コンサルトのタイミングと伝え方

6. 重症薬疹（Stevens-Johnson症候群・中毒性表皮壊死症・DIHSなど）

.....渡邊友也 104 (2450)

1. Stevens-Johnson症候群（SJS）／中毒性表皮壊死症（TEN）とは 2. 症例① 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 薬剤性過敏症症候群（DIHS）とは 6. 症例② 7. 皮膚所見を言葉で説明する 8. 診断・方針決定へのアプローチ 9. 研修医でもできる対処・対応 10. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：薬疹の治療

7. リケッチア感染症（つづがむし病・日本紅斑熱）林 宏明 115 (2461)

1. つづがむし病・日本紅斑熱とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 診断・方針決定へのアプローチ 6. 研修医でもできる対処・対応 7. 治療・対処が上手くいかないとき 8. コンサルトのタイミングと伝え方

8. 血液疾患（白血病・悪性リンパ腫）に関連した皮膚症状清原英司 122 (2468)

1. 皮疹としてみられる血液腫瘍とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. 診断・方針決定へのアプローチ 5. その他の症例 6. 研修医でもできる対処・対応 7. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：ランダム皮膚生検のポイント

【痛い】

9. 蜂窩織炎山崎 修 129 (2475)

1. 蜂窩織炎とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 診断・方針決定へのアプローチ 6. 研修医でもできる対処・対応 7. 治療・対処が上手くいかないとき 8. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：趾間の異常に注意

10. がん薬物療法による皮膚障害（ざ瘡様発疹・手足症候群など）

.....吉川周佐 136 (2482)

1. がん薬物療法による皮膚障害とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例
5. がん薬物療法による皮膚障害の治療（皮膚科医へのコンサルトの前に） ● Advanced Lecture：
薬剤性皮膚障害に対する治療のいま

11. 単純疱疹・帯状疱疹

.....山本剛伸 143 (2489)

1. 単純疱疹、帯状疱疹とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 診断・
方針決定へのアプローチ 6. 研修医でもできる対処・対応 7. 治療・対処が上手くいかないとき
8. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：帯状疱疹後の脳血管障害

【できもの】

12. 皮膚がん・転移性皮膚腫瘍

.....永瀬浩太郎 151 (2497)

1. 皮膚がん・転移性皮膚腫瘍とは 2. 疾患各論 3. 診断・方針決定へのアプローチ 4. 研修医で
もできる対処・対応 5. コンサルトのタイミングと伝え方

【傷】

13. 足潰瘍

.....木村知己 162 (2508)

1. 足潰瘍とは 2. 診断・方針決定へのアプローチ 3. 症例 4. 研修医でもできる対処・対応
5. コンサルトのタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：下肢潰瘍の鑑別

14. 褥瘡・スキンテア・MDRPU・血管外漏出

.....小森敏史 174 (2520)

1. 褥瘡 2. スキンテア 3. MDRPU 4. 血管外漏出（EV）

15. 熱傷

.....山田祥子 187 (2533)

1. 熱傷とは 2. 症例 3. 皮膚所見を言葉で説明する 4. その他の症例 5. 診断・方針決定へのア
プローチ 6. 研修医でもできる対処・対応 7. 治療・対処が上手くいかないとき 8. コンサルト
のタイミングと伝え方 ● Advanced Lecture：現場での注意点

第3章 研修医からよくある質問

1. 皮膚科医がどのように皮疹をみているのか

.....田中 了 196 (2542)

- 皮膚科医の皮膚へのアプローチとは ● Advanced Lecture：さらなる追加検査＝皮膚生検

2. 外用薬の使い分け（ステロイド・抗菌薬・保湿薬）

.....加来 洋 206 (2552)

- ステロイド 1. ステロイドの作用機序 2. 塗布されたステロイド外用薬はどのレベルまで到達す
るか 3. 解剖学的部位特性による吸収率の違いについて 4. ステロイドのランクについて 5. 副
作用について 6. 基剤について 7. 先発品とジェネリック製品の基剤 8. FTU：finger tip unit
9. 混合について 10. 外用方法と病態に合わせた実際の考え方 ■抗菌薬 1. 外用抗菌薬 2. 抗菌
薬入りのステロイド外用薬 ■保湿薬 1. エモリエント 2. モイスチャライザー

3. 入院患者の皮膚トラブルをどのレベルからコンサルトして

よいかわかりません

.....小川浩平 216 (2562)

1. 入院後に出現する代表的な皮膚疾患の対処とコンサルト 2. 薬疹 3. おむつ皮膚炎、表在性皮
膚真菌症 4. 褥瘡 5. 疥癬

● 索引 223 (2569)

● 執筆者一覧 227 (2573)